

建設業界に根付く 諸問題を取り払い 誠実な対応を胸に 人との縁をつなぐ

株式会社 鶴

代表取締役

田中 大貴

コロナ禍や低迷する日本経済、戦争や環境問題など、混乱する現代社会において、各分野で挑戦を続け、わが道を歩んでいる方々の言葉を通して、一步を踏み出したい読者の背中を後押しする企画。第9回は、建設業界の透明化・健全化を目指して誠実な施工を追求する田中大貴氏に、人との縁をつなぐ大切さや、関わるすべての人に寄り添うその哲学、建設業界のより良い発展に向けた取り組みなどを語ってもらった。

田中 大貴

高校在学中にアルバイトから建設業に携わる。卒業後は海外留学を経験し、帰国してからは不動産会社に就職。やがて建設業が自分の肌に合っていることを再確認し、足場工事の職人へ転身する。経験を積みながら実績を重ね、「大志工業」として独立。その後、前職の縁から修繕工事一式に対応したことを機に総合リフォーム業へと裾野を広げ、(株)鶴を設立した。これまでお世話になった人々に恩返しをするとともに、顧客や共に働く仲間と末永く信頼関係を築いていく姿勢を指針に、足場から塗装、防水、内装まで、住まいに関する工事全般に対応。業界変革のため、さまざまな挑戦が続いている。宅地建物取引士、一級施工管理技士補の資格を取得。

——2025年11月に(株)鶴を設立された田中社長。「鶴」という社名には、どのような思いが込められているのですか？

前職の不動産会社から修繕工事一式をお任せいただいたり、同業の業者さんからお仕事をいただいたりと、これまでたくさんの方々の支えがありました。だからこそ、自分が元請けの立場になった際には、今までお世話になった方々へ恩返しをしたいという思いがあるんです。ご依頼いただいたご縁だけでなく、共に働く職人さんや家族など、関わるすべての人とのご縁や恩を大切にしたいという気持ちで社名に込めています。また、鶴は生涯つがいで過ごすと言われています。そのため、当社もそうしたご縁をつなぎ、末永くあたたかい関係を築いていける存在でありたいという願いも込めているんです。

——人と人とのご縁を何より大事にされてきたんですね。

はい。私が最も重視しているのが、関わる方々との信頼関係です。おかげさまで、足場・外装・内装・不動産など、建物に関わるさまざまな分野の専門家と連携し、「各分野のプロフェッショナルが集まるチーム」をつくることができています。前提として、建設業界では、お客様から見た時にブラックボックスとなっている点が多くあるんです。例えば、大手さんに依頼したとしても、実際に施工するのは下請けの別会社になり、費用が高額になる場合も珍しくありません。その現状を踏まえ、お客様が職人とじかにやり取りができる環境を整えてサービス内容の透明化を図り、ご要望に合わせた丁寧な施工をご提供しています。

——職人の方々と接する際に大切にしている点についても、ぜひ教えてください。

私は、ご依頼された工事は自分の目で見届けたいという思いから、今でも職人

として現場に出ています。一緒に働く職人の方々には、私と同じ熱量や思いを持って取り組んでほしいと、常々伝えているんです。困ったことがあれば助けたいですし、逆に私が助けてもらうことも当然ありますから、お互いに切磋琢磨しながら、志を共有して現場に向き合っています。また、前述しましたように、建設業界には多重下請け構造が根付いていて、職人の方々が適正な対価を受け取れていない現状もあります。しかし、現場が滞りなく進むのは、共に働いてくれる職人の方々がいるからこそです。皆さんに幸せになってもらうためにも、今後は高齢になったなどの事情から職人ができなくなった方のセカンドキャリアとなるポジションをつくりたいと考えています。

——職人のセカンドキャリアとして、どのような仕事を考えていますか？

一つは、現場をチェックしてもらう仕事です。やはり、豊富な経験を積んできた職人の方だからこそ気付くことや理解できることが多々あると思います。そのため、そうした方々の現場チェックにより、熟練の職人目線による改善点を見つけてもらうようなポジションをつくりたいですね。もう一つは、外国人実習生の方が実際に現場に出る前の段階で、指導をしてもらう仕事です。過去には、技術面が疎かだったり、うまくコミュニケーションが取れなかったりしてきつく怒られている実習生の方を見て、とても心苦しい思いをしたことがありました。それに、技術が未熟な状態で現場に出ると、大きなケガをしてしまう場合もあります。そうした問題を解決するためにも、職人を引退した経験豊富な方を講師として、きちんとした教育機関のような体制をつくりたいと考えているんです。そして将来は、「株式会社鶴で学んだ職人なら安心だ」と言ってもらえるような付加価値を生み出せたらと思っています。

——お客さんに対しては、どのような取

り組みをしていきたいですか？

単なる工事会社ではなく、建物の価値を守るパートナーのような存在になりたいと感じています。特に考えているのは、不動産オーナー様へ適切なメンテナンス提案や建物診断を行い、長く資産価値を守ることできるサービスの追求です。「こうすれば賃料が上げられます」「これを取り入れると、建物の印象が良くなります」といった具体的なご提案を常に心がけていきたいですね。不動産オーナー様に限らず、1つの出口として、建物の売却や相続に関する部分までフォローさせていただけるお客様との関係性を築いていくことが、私の理想です。

——お話から、ご自身の理念を体現していらっしゃる事が伝わってきます。

ありがとうございます。最終的には、「職人が正当に評価される」「お客様が安心して工事を頼める」「業界全体が透明化される」。この3点の実現を目指したいです。現状の建設業界は、業者が安く自社を売り出し、結果的に費用が足りず、質の悪い工事をせざるを得なくなるという負の連鎖に陥ってしまっています。最悪の場合はそれで業者が潰れてしまい、地域に残った1つの業者が相場より高い単価でお客様に負担を強いる構造が根付いてしまふんです。その悪循環をなくすためにも、自らが誠実な施工を追求し続け、その思いを着実に広げていきたいですね。

——読者の方々へ、田中社長だからこそ伝えられるメッセージをお願いします。

会社を経営したり、責任感のある立場に立ったりすることは、本当に孤独で苦しいものです。しかし、そうした状況でも誠実さを頼りに、諦めず進んでいけば、きっと見てくれている人はいると信じています。最後には過去の頑張りが自分に返ってくる——その考えを大事にしたいだけだと思います。



大志工業
代表

田中 大貴

高校在学中に建設業のアルバイトを経験する。卒業後は海外留学し、帰国後は不動産会社に就職。建設業が肌に合うと再確認したことから、足場工事の職人に。独立を見据えながら着実に現場で結果を出し、足場工事を主に手がける「大志工業」として独立。創業8年目を迎え、法人化を目指して奮闘中だ。

図面作成から足場工事まで一貫して対応 楽しみながら現場を仕上げる職人集団

安全性の高い仮設足場の施工を手がける「大志工業」。代表の田中大貴氏は人との縁を大切に
して成長を重ね、不動産事業進出も視野に入れて法人化の準備を進めている。仲間の幸せを
何より重んじる同氏の温かな人柄に、お笑いタレントのあべこうじさんが迫った。

家族を守るために独立を決意

あべ まず、田中代表が職人の道へ進
まれたきっかけを教えてください。

田中 最初に建設業に携わったのは、高
校生の時のアルバイトでした。ただ、卒
業後は海外に留学したり、帰国後も不動
産会社に勤めたりと、しばらくは別のこ
とをしていたんです。しかし、働く中で
自分には職人の仕事や雰囲気が肌に合っ
ていると改めて感じたため、足場職人と
して一から技術を磨くことにしました。

あべ その当時から、独立されることは
考えていらっしゃったのですか？

田中 ええ。もともと父が建設業の会社
を営んでいたことや、建設業に携わって
いる友人が多かったことから、横のつな

がりも感じつつ自然な流れで独立をし
ました。私1人ではなくて、仲間と一緒に
ステップアップしてきた感じです。また、
歳の離れた兄弟や、妻を自分がしっかり
守っていききたいという思いも、独立の後
押しになったと思います。

あべ ご家族のために立ち上がられた、
と。愛する存在を守ろうとする純粋なお
気持ち、かっこいいですね。そうして、
個人事業主としては8年目を迎えられる
タイミングだとうかがいました。

田中 はい。ありがたいことに、ここま
での8年は順調に、安定して仕事を請け
負うことができました。しかし、まだま
だ成長しなければなりませんから、現状
にあぐらをかくことなく、法人化へ向け
て決意を新たにしているところです。



図面作成から足場工事まで一貫して対応

あべ では、現在どのような現場を手が
けていらっしゃるのか、工事の内容につ
いてぜひ詳しくお聞かせください。

田中 当社では、あらゆる工事の基礎と
なる足場工事を主に手がけています。図
面の作成から実際の施工まで一貫して対
応させていただき、安全かつスピーディ
なサービスをご提供しております。

あべ 足場工事は高所での作業が伴うイ
メージがありますから、図面の段階から
すべてお任せできるというのはお客さん
にとっては安心感があるでしょうね。

田中 ありがとうございます。図面作成
においては、現場ごとに施主様、事業主
様のご要望を細かくおうかがいするのは
もちろんのこと、作業者の効率を最大限
に引き出しつつ、建物にも負担がかから
ないように配慮しています。

あべ それは素晴らしい。足場を組み立
てた後のことまで考えてくださると。

田中 はい。「下手な足場はご依頼者様
の為にならない」という緊張感を常に持っ
て、日々の現場に臨んでいます。知人や
友人からご依頼をいただくこともありま
せん。また、“鷹に始まり鷹に終わる”
足場を組み立てたあとに現場入りする業
者さんの作業がより快適になるよう、近
隣の方々にも配慮して工事を進めている
んです。

あべ 高品質で効率の良い足場工事を
行っていいらっしゃるんですね。そんな田

中代表の背中を見て、スタッフさんも学
ぶところが多いでしょう。

田中 そうであれば嬉しいですが、私自
身がスタッフから学ぶこともたくさんあ
りますし、そこに関しては立場はあまり
関係ないと思っています。お互いに高め
あえる存在でありたいですね。

従業員が楽しく仕事できる会社に

あべ 今後は法人成りを目指されていく
とうかがいました。どのような会社をイ
メージされていますか？

田中 足場工事をはじめ、建設業の仕事
は体力的にも精神的にも厳しい仕事であ
るだけに、楽しく仕事ができ、なおかつ
働いてくれる人の家族や大事な方が安心
して「いってらっしゃい」と送り出せ
るような会社にしていきたいと思ってい
ます。私自身、「勇将の下に弱卒なし」
ということわざを指針にしている、リー
ダーの私が立派でいることで部下の社会
的地位も築かれていくと思うので、こ
れからも皆を引っ張って行って、一人ひ

とりが高い人間性を持っている、そんな
強い組織にしていきたいですね。

あべ 仕事のみならず、人間的な部分で
も皆さんで高めあっていけると。これ
からが本当に楽しみです。

田中 ありがとうございます。私は前職
が不動産会社だったので宅地建物取引士
の資格も取得してしまっていて。建築業と親
和性もありますし、今後は不動産業も
行っていきたいと視野に入れています。
というのも、建設業を盛り上げたい気持
ちはあるのですが、抱えているスタッフ
の高齢化も進んでいるので、建設業以外
で事業の幅を広げ、新たな道を用意する
必要があるんです。ただ、先々のことを
見据えつつも、基本的には「楽しいかど
うか、やりたいかどうか」という感覚的
な部分も大切にしたいと思います。

あべ 私もハッピーか、ハッピーでない
かという軸で物事を考え、人を笑顔にし
てきたので、従業員の方に寄り添いなが
ら皆で楽しんでいらっしゃる田中代表の
姿勢には感銘を受けます。

田中 そう言っていただけると嬉しいで
すね。そもそも私が「建設業が肌に合っ
ている」と思ったのは、1人では何もで
きないからなんです。多くの業種は、1
人でも時間さえあれば何とか作業でき
ることが多いですが、足場工事はチームワ
ークや仲間との連携が何よりも大切で、そ
れなくして仕事は成り立ちません。これ
からも、皆と力を合わせながら1つの現
場を仕上げることのやりがいや達成感を
感じつつ、お客様に頼りにされる会社を
目指して一歩ずつ歩んでまいります。

Guest Comment>>

あべ こうじ（お笑いタレント）

「周囲の方への感謝を忘れず、スタッフの独立も支援していき
たい」と語っていらっしゃった田中代表。誠実なお人柄を強みに
して、多くの人とのご縁を広げながらご自身も進化していける
方だと思うので、今後ぜひ、その笑顔で“ハッピー”の輪を
広げていってほしいですね。法人化という次のステップへ進ま
れることを、私も全力で応援しています！

